
4074. 混載貨物事前情報登録

業務コード	業務名
S K A	混載貨物事前情報登録

1. 業務概要

海上の輸入混載貨物に係る海上簡易輸入申告に先立ち、混載貨物事前情報の登録を行う。

また、貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、貨物情報の登録に係る内部処理を起動する。

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

- ① 1業務で入力可能なハウスB/L・混載子B/L番号（以降、混載子B/L番号）は最大20件とする。
- ② 貨物情報の自動登録を行う場合、1混載親B/L番号に対して関連付け可能な混載子B/L番号は最大99件とする。（「SKA_02_関連付けに係る入力について」参照）

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 本業務の入力資格を有する者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 混載子B/L番号重複チェック処理

同一の混載子B/L番号が入力されていないことをチェックする。

(4) 混載貨物事前情報DBチェック処理

入力された混載子B/L番号が登録されていないことをチェックする。

(5) 貨物情報DBチェック処理

以下の条件をすべて満たす場合にチェックを行う。

- ・ 貨物情報の自動登録を行う旨の入力がある。
- ・ 関連付けマスターB/L番号の入力がある。

(A) 孫混載の登録における関連付けマスターB/Lチェック

孫混載の登録である場合（入力されたマスターB/L番号（最上位）と関連付けマスターB/L番号が異なる場合）は、入力された関連付けマスターB/Lが混載子B/Lとして搬入確認済であること。

(B) 混載子B/L件数チェック

関連付けマスターB/Lが貨物情報DBに存在する場合は、登録されている混載子B/Lの件数と入力された混載子B/Lの件数の合計が99件以内であること。

(6) プラットフォーム等コード関連チェック

入力されたプラットフォーム等コードについて、以下のチェックを行う。

① プラットフォーム等コードがプラットフォーム等コードDBに存在すること。

② 本業務が行われた日がプラットフォーム等コードDBに登録されている適用開始年月日から適用終了年月日の間（適用開始年月日 ≤ 業務実施日 ≤ 適用終了年月日）であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 混載貨物事前情報受付番号払出し処理

混載貨物事前情報受付番号をシステムで払い出す。

(3) 混載貨物事前情報DB処理

入力された混載貨物事前情報を登録する。

(4) SKA業務における出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(5) 注意喚起メッセージ出力処理

貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、貨物情報の登録に係る内部処理を行う。処理内容は下記(6)～(8)参照。

(6) 貨物情報の登録に係る内部処理における入力チェック処理

混載子B/L番号毎に以下の条件に合致するかチェックし、合致した場合は以降の処理を行う。

合致しない場合は、貨物情報の登録を行わず、「00000-00000-00000」以外の処理結果コードと合わせてエラー通知情報(ハウスB/L貨物情報自動登録)に出力する。

なお、処理結果コードに出力される項目名は、SKA業務の入力項目名となる。

(a) 貨物情報DBチェック

「ハウスB/L貨物情報登録(登録、訂正、削除)(NVC01)」業務の貨物情報DBチェック(新規登録)と同様のチェックを行う。

チェック内容は、NVC01業務の業務仕様書参照。

(7) 貨物情報の登録に係る内部処理における貨物情報DB処理

NVC01業務の貨物情報DB処理(新規登録)と同様のDB処理を行う。

DB処理内容は、NVC01業務の業務仕様書参照。

(8) 貨物情報の登録に係る内部処理における出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) SKA業務における出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
混載貨物事前情報登録完了通知	以下の条件を満たす場合 (1) 正常終了した場合 (2) 通知先 (申告予定者) に利用者が入力されている場合	通知先 (申告予定者) に 入力された利用者

(2) 貨物情報の登録に係る内部処理における出力情報

情報名	出力条件	出力先
ハウスB/L貨物登録情報	5. (7) 貨物情報DB処理にて、混載子B/Lを1件以上登録した場合	入力者 混載仕分けを行う保税地域* ¹
エラー通知情報 (ハウスB/L貨物情報自動登録)	なし	入力者

(* 1) システム参加保税地域のみ出力する。

7. 特記事項

(1) 任意項目 (項目1~項目10) 関連チェック

項目1~項目10について、本業務実施者毎に定められたチェック内容でチェックを行う。

(2) 関連付けマスターB/L番号について

関連付けマスターB/L番号とは、ハウスB/L・混載子B/L番号に関連付けを行うB/L番号を指す。本業務にて、貨物情報の自動登録を行い、かつ、ハウスB/L・混載子B/L番号に関連付けを行う場合は、ハウスB/L・混載子B/L番号に係る直前の親B/L番号を入力する。